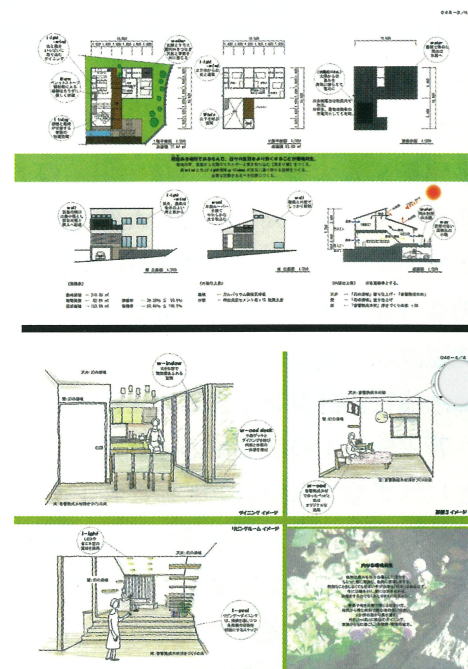




4. 住宅設計コンペを終えて

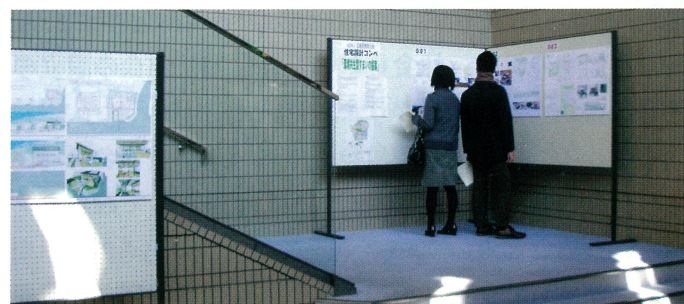
今後、どのような形で住宅建設が進んでいくかは、アイレストホームとの個々の協議の中で決定していくことになります。私たち社会活動委員会住宅研究会がかかわった住宅団地として、これまでにない価値や魅力など、多くのユーザーから高い評価がいただける住宅団地ができるように、この計画地が完成するまで何らかの形でかわっていきたいと思っています。そして完成する過程を多くの皆様にお伝えしていきたいと考えております。

今回の住宅設計コンペは、住宅研究会の創設と同時に短期間で実施したものであり、初めての事業であったため、不手際も多くあったと思います。しかし、建築士会の活性化、良質な住宅の供給並びに建築士の資質の向上と社会貢献活動など、当初の目的はある程度達成できたのではないかと自負しております。またこのような機会

があれば、住宅設計コンペも続けていくつもりです。

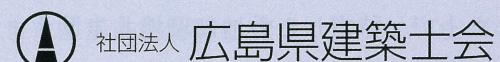
今回のコンペに参加していただいた皆さんをはじめ、住宅について考えていきたいと思われている会員の方、次回はぜひとも活動にご参加下さい。

今回応募いただいた全17作品は5月22日、定時総会の会場ロビーに再び展示致します。まだご覧になっていない方も多くいらっしゃると思いますので、ぜひ機会にお越し下さい。



あなたの作品で表紙を飾ってませんか？

随時、表紙用の写真を募集しています。写真(プリント、ポジ、データ)2~3点を設計概要、設計趣旨(400字程度)と一緒に送ってください。会員の皆様からのご応募をお待ちしています。



〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ5F
TEL (082) 244-6830(代) FAX (082) 244-3840
mail : info@k-hiroshima.or.jp
URL : http://www.k-hiroshima.or.jp/



表紙写真について

「東城の家」

- 設計監理／渋谷建築設計事務所
- 施 工／三島産業株式会社
- 所 在 地／庄原市東城町
- 構造規模／木造 2 階建
- 用 途／個人住宅
- 建築面積／131.53㎡
- 延床面積／186.14㎡
- 完成年月／2009年11月



冬の寒さは厳しいけれど夏の冷房はまったく必要ない、自然がいっぱいの県北は東城町の住宅です。

老朽化した住宅を建て替えるに当たり、冬の厳しい環境に対応できるよう工夫をしました。リビングダイニングは、地元産の木質燃料を使うペレットストーブで暖を取ります。暖まった

空気は吹き抜けの FRP ルーバー越しに 2 階の寝室へ行き渡ります。また、冬場に屋根から落ちる雪の位置や外壁通気など、見えない部分にも多くの工夫を凝らしました。さらに、躯体には県産材をふんだんに利用し、建物全体に地産地消を意識しました。

竣工時、ご当家の皆様が涙ながらに喜んでくださったお姿に、我々建築士の果たすべき役割をあらためて感じることができました。建設に当たり各業者の皆様には、なにかとお世話になりました。また工事を温かく見守ってくださいましたご当家の皆様、この度の素晴らしい出会いと毎日のおいしいお茶をありがとうございました。



事務局より 第 1 期定期講習 (H22.6.9実施分) 追加募集について

平成 22 年度第 1 期の定期講習日時は以下のとおりです。

平成 22 年 6 月 9 日 (水) 広島県情報プラザ
この定期講習の追加募集を行っております。

申し込み期限：4 月 16 日 (金) まで
第 2 期は、下記のように予定しています。
・ 8 月 4 日 (広島) ・ 8 月 25 日 (福山)
(申し込みは 6 月上旬予定)

* 設計事務所の建築士として登録している者は、平成 23 年度中 (平成 24 年 3 月まで) に「定期講習」を受講することが義務付けられました。(以後 3 年度ごとに受講)

* 「定期講習」は「管理建築士講習」とは別のものです。
理建築士講習」を受講して管理建築士として登録されている方も、「定期講習」は受講しなければなりません。

信頼の土地・信頼の家

株式会社 壺 心

〒728-0014 広島県三次市十日市南七丁目1番15号 壺心ビル
TEL (0824) 63-7890 FAX (0824) 63-7888

事務局より 平成22年 定時総会について

日 時：平成 22 年 5 月 22 日 (土) 14 時より

会 場：広島県情報プラザ地下「多目的ホール」
1 階「マルコポーロ」(懇親会)

スケジュール：12:15～13:45 広島支部総会(受付11:45)

13:45～14:00 休憩

14:00～16:00 本部総会(受付13:30)

16:00～16:20 休憩

16:20～17:15 地貢献団体発表会(受付15:50)

17:30～19:00 懇親会

◆「住宅設計公開コンペ」(平成 22 年 2 月実施) の
出展作品を展示します。

2 月 21 日 (日) に「環境共生型すまいの提案」を
テーマに住宅設計公開コンペが行われました。この時
の出展作品を、再び展示致します。ご覧になっていな
い方も多いと思いますので、ぜひこの機会にご覧下さ
い。(7・8 ページ参照)

◆「広島県地域貢献活動助成団体」
3 組の活動発表会を行います。

建築士が自らの職能や建築士会を通して、地域
まちづくり活動への支援をすることを目的として、広
島県建築士会の中には「広島県地域貢献活動センター」
という組織があります。ここでは毎年、建築士会の会
員が参画し、継続的な地域貢献活動を行うまちづくり
団体に対して助成をしております。

事務局より 新CPD制度について

昨年12月のアンケートで、「参加を継続する」と
回答された方は新制度への移行手続き
(「CPDカード」を受け取り)にお越し下さい。

1 料金 ※お釣りのないようにご用意下さい。

	①建築士会 CPD制度のみ 参加	②建築士会CPD制度と 建築CPD情報提供制度の 両方に参加
CPDカード代	700円	700円
データ管理料 (H22年度分)	1,000円	1,500円
合 計	1,700円	2,200円

2 手続場所
各支部です。但し広島支部所属の方は、本部 (広島県
情報プラザ 5 F) にお越し下さい。

3 注意事項
・ 5 月末までに手続きをされないと、4 月以降の単位
を登録できなくなる場合があります。

前回の活動発表会は、平成 20 年 2 月に社会活動委
員会の青年部・女性部による「地域実践活動 (まちづ
くり活動)」の発表会と合同で、平成 18 年度助成終
了の団体を中心に 5 つの団体の活動発表会を開催致し
ました。今回は、ぜひ当会の会員を中心に聴講して頂
くよう総会の日に合わせて開催致します。平成 19 ～
20 年度に助成終了した下記、3 団体の発表です。

- 1 「特定非営利法人鞆まちづくり工房」(福山鞆地域)
鞆の浦の歴史的環境の素晴らしさを次代に引き継ぎ、
町並みや港湾施設、伝統的な産業などの歴史的遺産
を活用したまちづくりを提案・実践。
- 2 「ほんごう子ども図書館」(三原市本郷地域)
子どもたちが自然に親しみ、自然と一緒に遊びなが
ら共存できる環境設備を構築。
- 3 「雲月山活性化委員会」(山県郡北広島地域)
西中国山地国定公園「雲月山」の環境整備と自然保
護。松や雑木が茂り始め、美しい草原の山が失われ
るのを防ぐために山焼きを復活。

もちろん、会員以外の方が聴講されて構いません。「ま
ちづくり」活動をされている方や団体にぜひお声をかけ
て下さい。

※総会のご案内は 4 月末にお送り致します。欠席の場合
でも、返信葉書が委任状になっておりますので、必ず
お返事下さいますようお願い致します。

新しくCPD制度に参加される方は参加申込をして下さい。

- 1 申込書
ホームページから取り出し、必要事項を記入します。
- 2 手続方法
・ 窓口で：申込書に参加費用を添えて、本部窓口にお
越し下さい。
・ FAX で：参加費用を振込み、その支払証明と共に
本部に FAX して下さい。
※折り返し、申込の受領確認をお送りします。

3 参加費用
(初期登録費・初年度管理料・カード発行費・送料を含む。)

	①建築士会 CPD制度のみ 参加	②建築士会CPD制度と 建築CPD情報提供制度の 両方に参加
会 員	2,000円	2,500円
会員外	5,300円	5,800円

4 CPD カードは申込の約 1 ケ月後にお送りします。

支部だより
福山支部

建築なんでも探建隊 紙が変身ミニハウス '06～'10

第1回「紙が変身ミニハウス」では、子どもや親子のミニハウス30棟と、女性部会の「桜と樹木」「車と敷地」に、青年部のレストランやコンビニが加わり、900×1,800の海見える敷地が完成しました。

第2回のテーマは「福山市北部～みんなでつくろう桜と蛸のまち in 駅家～」。庭・車庫・プールなど、個々の感性でミニハウスづくりができました。平屋・2階建てと建物の種類も増え、町並みにも変化ができました。

第3回のテーマは、「福山市の花―ばらの町」。女性部会のメンバーと講師の原田先生の生徒さんたちと一緒に、ばら公園を中心とした敷地と町並みを作りました。お父さんの真剣な姿に、「父も頑張っていました」という子どもさんの感想もありました。普段の生活では見る事のない、お父さんの姿だったようです。



女性部会



第4回のテーマは、「みんなでつくろう崖の上の我が家」。輛の浦が題材??今回は講師の原田先生と力作、「ポニョの家」を作りました。敷地も海と山の2つを用意し、でき上がったミニハウスを配置して記念撮影をしました。

第5回のテーマは、「みんなでつくろうエコタウン」。福山市西部の松永に仮想の土地を設定して、太陽光風力発電・エコカーの充電ステーション等を取り入れ、エコタウンを作りました。子どもチームと大人チームに分かれて、使う材料も「エコ」。卵の殻を乾燥させたものや、使用済みのコーヒーの粉・お茶、期限切れの豆・パスタなどで、土手、畑、田んぼなどを表現しました。



ミニハウスづくりは回を重ねるごとに、子どもたちからの発想や女性部会の感性が生かされ、「建築なんでも探建隊～紙が変身ミニハウス～」が実現しました。

事務局より

平成22年度 第36回 支部対抗ボウリング大会について

平成22年2月20日(土)、東広島市の「賀茂ボウル」で恒例の支部対抗ボウリング大会が開催されました。

*今回は「ストライク募金」を行い、日本赤十字社にハイチ地震の救援金として39,060円を寄付致しました。

優勝 県北支部
〈団体の部〉 2位 広島支部
3位 東広島支部

安心で安全な住まいづくりをサポートします

- ◎ 建築確認・検査業務
- ◎ フラット35適合証明業務
- ◎ 住宅かし担保責任保険に関する業務
- ◎ 住宅性能評価業務
- ◎ 長期優良住宅技術審査業務

(財)住宅保証機構(まもりすまい保険事業者届・現場検査・保険証券発行・住宅完成保証・地盤保証・既存住宅保証)

(株)住宅あんしん保証(あんしん住宅瑕疵保険受付センター・現場検査)

(株)日本住宅保証検査機構(JIOわが家の保険取次店・現場検査)



指定確認検査機関・登録住宅性能評価機関

株式会社 広島建築住宅センター

●本社 / 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-10
TEL082-228-2220 FAX082-228-2231
●福山営業所 / 〒720-0034 福山市若松町8-22
TEL084-928-3979 FAX084-928-3974

支部だより
広島支部

スキー交流会に参加して

松本 浩一

広島支部スポーツ委員会主催のスキー交流会も、今年で4回目になりました。今回は平成22年2月11日、「めがひらスキー場」で開催。参加者は14名でした。

毎年、なぜか(?)お天気には恵まれないようで…ほぼ一日中雨が降り続けました。もしかすると、私の家族以外の方々は、スキーやスノーボーをされなかったのではないかと思います。ソリや雪遊びをして、女鹿平温泉で入浴を楽しまれる方が多かったようです。

あいにくのお天気でしたが、それでも家族同士の交流ができ、今回もとてもいい一日になりました。



株式会社 ジェイ・イー・サポート

<http://jesupport.jp/>

「より早く・より公正に・より親切に」をモットーに、
皆様のご要望に添えるよう、
より良いサービスを創造し、提供してまいります。

- 指定確認検査機関(国土交通大臣第16号)
- 指定構造計算適合性判定機関(広島県知事第2号)
- 登録住宅性能評価機関(国土交通大臣第26号)
- 住宅金融支援機構の適合証明業務(フラット35)
- 住宅瑕疵担保責任保険業務

株式会社 ジェイ・イー・サポート

代表取締役 石山 講

本社 / 〒730-0041 広島市中区小町2-30 第二有楽ビル

TEL 082-546-1378 FAX 082-249-7190 e-mail: mail@jesupport.jp

支店 / 東京・札幌 営業所 / 呉

2010 Information Calendar 4月・5月の行事予定

4 April

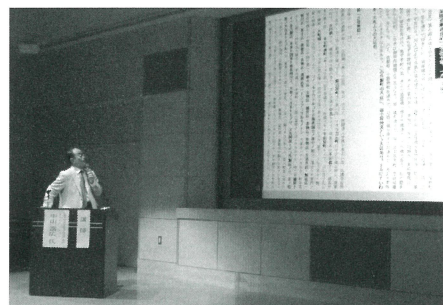
- 5月・二級・木造受験申込書配布(～16日まで)
- 12月・二級・木造受験申込受付(～16日まで)
- 26月・一級受験申込書配布開始(～5/14まで)

5 May

- 10月・一級受験申込受付(～14日まで)
- 22土・平成22年度広島県建築士会定時総会(広島県情報プラザ)

「ひろしまの都市格と暮らしを考える」

2月20日(土)、「ひろしまの都市格と暮らしを考える」をテーマにフォーラムを開催しました。広島支部まちづくり委員会がこれまで開催してきた、「ひろしままちづくりフォーラム」を次のステップに進めるためのもので、次世代のまちづくりは、まちの生活文化(地域特性、遺伝子)や都市格(都市の性格や品格)について市民が考え、そのまち特有のまちづくりを展開していく必要があるとの考えに基づいています。



フォーラムは3部構成で開催。第1部の基調講演では、広島大学教授の中山富弘氏から、江戸期までの広島の歴史についてお話いただき、そこにある生活文化と都市格について教えてくださいました。

第2部は、「現代計画研究所」代表取締役会長の藤本昌也氏と、建築士会・錦織亮雄会長の対談。戦後の広島街づくりを振り返りながら、そこにあった広島の生活文化と、これから積み重ねていく広島の都市格とまちづくりについてお話いただきました。

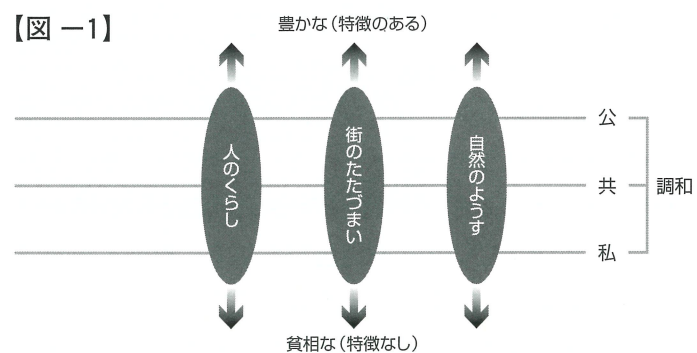
第3部は、第1部、第2部の講師の方々に、「NPOやまなみ大学」の佐藤伸矢氏と「中国新聞社」の増田泉子氏を加えてトークセッションを行い、会場の参加者とともに、これから積み重ねていく「ひろしまの都市格と暮らし」について意見交換を行いました。

第1部の中山先生からは、古河古松軒や本願寺使僧・東林、横井小楠や河井継之介の広島の観察などが書かれている古文書をひも解きながら、広島城下町の有り様と生活文化についてお話いただきました。当時の広島は、広大な領地はあってもあまり富国ではなく、土風は退廃し、美人は少なかったとか。一万余軒からなる市中には諸品も自由にあふれ、特産品としては海苔・牡蠣・紙が最高のもだったそうです。海や川などの水辺の景色は綺麗でしたが、その町にはあまり風格というものはないことなどを教えていただきました。

第2部では、まず錦織会長から戦後の広島の暮らしや街のたたずまい、自然の様子の写真を見せていただきました。都市格とはそもそも図-1のように、それらの3つに対して公・共・私がかうまく織り成していくことによ

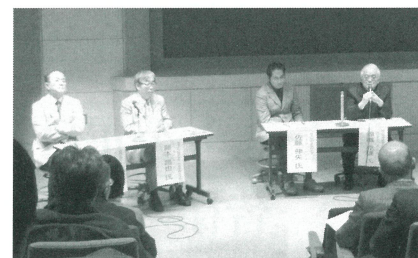
広島支部まちづくり委員会 三島 久範

【図-1】



って生まれる豊さであるとのこと。その後、藤本氏から街を良くするための公空間・共空間(社会化された空間)・私空間の事例をご紹介いただきました。広島でこれから都市格を形成していくためには、平和記念公園から基町高層アパートまでの緑の都市軸に、この関係を作っていく必要があるとの考えをお聞きしました。

第3部のトークセッションでは、会場から、「このような会を通じて具体的な街づくりを考えていくことは重要だが、これまでの広島の街づくりは、いろいろ考えはしても、なかなかうまく実現していない現状がある」、との意見が相次ぎました。これに対してパネリストから、「だからこそ今、皆が集まって共有し、議論することができるようなフラッグ(旗)となる計画や場が必要。そこでの議論と共有化(社会化)をさぼらずに積み重ねていくことによって、現在の広島に公・共・私調和した都市格を形成していく必要がある」との意見が交わされました。



そしてその取り組みを、今回のフォーラムを契機とした「ひろしま文化都市会議」の立ち上げとともに始めればよいとのご意見をいただきました。

今回のフォーラムは、次世代のまちづくりに向けて更に一歩踏み出すことを考える、有意義な会となりました。そして広島支部まちづくり委員会、ひろしま文化都市会議実行委員会としては、この会を講師の方々の有意義なご意見や皆様のご意向とともに継続させ、次世代の「ひろしまの都市格と暮らしづくり」につなげていきたいと考えております。次の企画は具体的に決まっておりますが、皆様のご意見とともに、より良い方向に展開していきたいと思っておりますので、今後とも積極的なご支援、ご参加をよろしくお願い致します。

住宅設計コンペ「環境共生型住まいの提案」

社会活動委員会 住宅研究会 生田 文雄

最優秀賞(1組) 柴崎厚美さんと貞森美保さんの共同作品
優 秀 賞(2組) 久保井邦宏さん、保井英三さん
入 賞(4組) 細見恵さん、佐々木圭司さん、岡田英治さん、吉岡正明さん

1. はじめに

広島には住宅の設計の分野で頑張っている若い建築家や、地域特性を生かしながら住み手との対話の中からこだわりの住宅をつくるなど、地産地消を実践している若手建築家も大勢います。住宅供給のあり方においても、従来の大手メーカーによる大量供給の手法も曲がり角にきています。そこで建築士会の活性化と若手建築家の活動を手助けするため、休止状態であった「住宅研究会」を再設立しました。

2. 住宅設計コンペまでの経緯

若手建築士の活躍を応援し、建築士会を活性化することには異論はないが、どんな若手がどのような活躍をしているのか、どんな応援が良いかを模索している中、建築士会より協力を要請していたアイレストホーム株式会社から、住宅研究会で住宅コンペを行うのであれば全面的に応援をすとのお話を頂きました。建設場所の提供や、優秀者には条件が合えば、実施設計につながるという、建築士にとって大変ありがたい内容です。



住宅研究会をどのように進めるべきか迷っていた私にとっても、建築士会の活性化、若手建築家の活躍の場の提供、建築士の資質の向上、良質な住宅の供給、社会貢献など、住宅研究会の設立の趣旨に合致する企画となりました。

こうして、社会活動委員会の中にメンバー5名の「住宅研究会」を立ち上げ、研究会初の事業として設計コンペを行うこととなったのです。

3. 住宅設計コンペ「環境共生型すまいの提案」の概要

今回のコンペは、広島市安佐南区の若葉台のアイレストホームの所有する建設予定地7区画の全体の完成イメージを提案した上で、特定した敷地に環境共生型すまいの提案を求めるというものです。

できるだけ多くの会員に参加してもらうため、あまり労力をかけることがないよう、設計趣旨などをA3横使い4枚以内の中で表現してもらうことにしました。

コンペの審査委員長は、広島とゆかりの深い社団法人日本建築学会連合会の会長でもある藤本昌也先生にお願い致しました。



このコンペの特徴は、第二次審査を公開でプレゼンテーションすることによって優秀者等が決定することです。そして優秀者には、提案された計画案を基本に、今後、アイレストホームと協議調整を行い、諸条件が整えば、計画案実現のために次への作業にかかわれるという2つの特徴があります。

2月21日、最終公開審査会場である広島県情報プラザの多目的ホールには、今回応募されたすべての提案が公開展示され、一般の人も含めた多くの皆さんが興味深く作品を見比べておられました。

公開のプレゼンテーションでは、第一次審査を通過した7名の方が10分間の計画説明の後、審査委員長の質問に答えていくという流れで進みました。それぞれ特徴を持った観点からの提案や、藤本審査委員長との意見交換が大変興味深く、私たち建築士としても大変参考となることが多くありました。一般の方にとっても、建築士の住宅づくりに対する深い思いや考え方、技術的な提案など、建築士の職能の素晴らしい部分を知る良い機会となったのではないかと思います。

30分間の審査休憩の間には、健康住宅づくりを推進されているアイレストホームの旦社長による熱のこもった講演もありました。

受賞結果は冒頭のようになり、藤本昌也審査委員長から発表と講評がありました。アイレストホームの旦社長は、17作品の中で今すぐにも建設できそうな作品が数作はあるとおっしゃっていました。しかし社会派の建築家と言われている藤本先生らしく、単に環境共生型の住まいの提案ということではなく、まちづくりとしての団地全体のつくりかたや個別の住宅のあり方の関係、地形の持つ条件(素形)の生かし方など、バランスのある作品が受賞された感じがします。

